



奈私幼 PTA 通信

令和3年度 NO. 2

奈良県私立幼稚園PTA連合会本部発行

事務局：〒630-8215 奈良市東向中町6番地 経済会館406号

第26回 振興大会が開催されます！

令和 3年 10月 19日 (火)

10:00~12:20

オンライン開催

(講演会后、1週間アーカイブ配信あり)

～ 第2部 講演会 ～

講師

一般社団法人 日本セルフエスティーム普及協会

代表理事 工藤 紀子様

テーマ

ハッピー子育て ～ 自己肯定感を育み親も子も笑顔になる ～

振興大会とは・・・

奈良県私立幼稚園連合会・奈良県私立幼稚園PTA連合会が主催しています。

奈良県下私立幼稚園の一層の振興を図るために、私立幼稚園を取り巻く状況を理解するとともに教職員と保護者の連携を強めることを目的としています。

例年はホテル日航奈良や奈良100年会館などで行われていましたが、昨年度は初めてのオンライン開催となりました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにオンライン開催となりました。つきましては、各園やご自宅での視聴をお願いいたします。詳細は、後日各園へ書面にて送付させていただきます予定です。

今回の講師の方は東京よりZOOMにて講演していただく予定となっています。貴重な機会ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

講義内容ご案内

子どもの幸せを願わない親はいません。しかし、日々の中で子どもにイライラして「子育てが辛い」と感じてしまうことはないでしょうか。それは親であるあなたが、一生懸命子育てをしている証拠です。親が機嫌よくニコニコしていると、それだけで子どもは幸せで、安心して自己肯定感を育てていけます。親と子どもが幸せになる鍵となる「自己肯定感」についての基礎知識と「子どもの可能性と生きる力を伸ばす親のかかわり方」など、自己肯定感を育てることで子育てが楽しくなるヒントを教えてください。

講師紹介

一般社団法人日本セルフエスティーム普及協会

代表理事 工藤紀子 様



2013年、(一社)日本セルフエスティーム普及協会を設立。企業や教育機関、教職員向けの研修や「子どもの未来を切り拓く自己肯定感」というテーマで保護者、生徒向けの講演を行っている。
また、平成31年度、令和3年度中学校道徳の教科書(学研)で自己肯定感のコラム、教師用指導書を執筆。

著書：「職場の人間関係は自己肯定感が9割(4刷)フォレスト出版」他1冊。

奈良県私立幼稚園 PTA 連合会 本部役員より

夏休みが終わり、園生活が再開したかと存じます。しかし、私たちを取り巻く環境は良い方向へとはすぐに変わりそうにありません。この制限された生活、ストレス発散ができない日々、でも子どもにはもっとハッピーに過ごしてもらいたい・・・けれど、うまくいかないなど、親子ともにストレスを感じる日々が続いていませんか？

10月19日の第26回奈良県私立幼稚園振興大会では、保護者の皆さまがお子さまと笑顔で向き合え、子育てがもっと楽しくなるようにと思い、上記の講演会を開催することに致しました。

コロナ禍であるため、オンライン開催とはなりますが、皆さまご参加いただきますようお願い申し上げます。

各園での参加人数には限りがあるため、振興大会終了後1週間限定でアーカイブ配信をする予定です。奈良県私立幼稚園PTA連合会所属の保護者様限定で、インターネット上でご覧いただけるようにいたします。(アーカイブ配信のご案内は、別途ご連絡いたします。)

※アーカイブ配信とは：ライブ配信(生配信)が終わったものを、記録として配信すること



お子さまと一緒に秋を感じてみませんか・・・？

新型コロナウイルスの感染拡大も、ワクチン接種が開始になったとはいえ、次々と変異株が現れ、終息に向かうことがなく、まだまだ生活に制限のある日々が続いていますね。

どこへ行くにも、「マスクしてる？手洗った？消毒した？」が合言葉になっていませんか。子どもたちは文句も言わずにマスクをつけ過ごしてくれていますが、心のどこかで子どもたちなりに、たくさん我慢しているのだと私は思います。忙しい日々の中でそのことを忘れがちですが、秋の夜長に、ちょっと思い出して、子どもたちと関わりができるといいですね。

そんな思いがあり今回は、お子さまと一緒におうちの中や散歩で秋を感じられることを紹介させていただきます。

秋の七草って？

春の七草は有名ですよ。秋も七草があるのをご存じでしたか？

春の七草は七草がゆにして、無病息災を祈るものに対し、秋の七草はその美しさを鑑賞して楽しむものとされています。

秋の七草の特徴は、見て楽しめるだけではなく、薬用など実用的な草花として昔の日本人にも親しまれていたものが選ばれているようです。

① 萩 (はぎ・おばな)

② 薄 (すすき)

③ 葛 (くず)

④ 撫子 (なでしこ)

⑤ 女郎花 (おみなえし)

⑥ 藤袴 (ふじばかま)

⑦ 桔梗 (ききょう)



<https://hanasakublog.com/290.html> より

涼しくなってきたら、お子さまと一緒に散歩をしてみてもいいでしょうか。

いつもは何気なく通っているところに、もしかしたら秋の七草。

草花だけではなく赤とんぼ、うろこ雲・・・など、いろんな秋を感じることができるといいですね。





おりがみで十五夜

ここで少し・・・雑学を。

9月のお月見にはなぜ、お団子をお供えるのでしょうか。それは昔、月を信仰していたからという説があるようです。昔は、夜暗くなるまで農作物の収穫作業をしていると月明かりが頼りでした。電気による明かりがない時代には、月明かりのおかげで収穫作業ができていたということです。収穫作業が無事終わられましたという感謝の意を込めて、お米の粉で月に見たててお団子を作り、お米が無事に収穫できたことに感謝し、次の年の豊作も祈願したようです。

今では電気があって当たり前。でも、昔はそうじゃなかったんですね。このコロナ禍にもこの考え方、どこか共通している気がするのは私だけでしょうか。2年までは遠くの人にも電車や飛行機を使えばすぐに会えるのが当たり前、大人数が集まって、楽しくおしゃべりしながらおいしいものを食べたり、遊んだりできるのも当たり前。でも今はそうではなくなっていますね。当たり前のことを当たり前だとは思わずに、日々を大切に過ごしていきたいですね。子どもたちにも、当たり前のことに感謝できるように伝えていきたいなと思っています。



真ん中のお団子であれば年少さんでもつくれそうではないでしょうか。親子でそれぞれお団子作ったのを合わせればより楽しめそうですね。

作り方（お月見だんご）

<https://origamikko.com/tukimidango-dai/>



いろいろなうさぎさんに親子でチャレンジするのもいいですね。作るのが苦手なお子さまや1歳2歳さんには自由にお顔を書いてもらうとオリジナルのうさぎさんができそうですね。

作り方（うさぎさん）

<https://origamikko.com/usagi-kaou/>

